

町議会11月臨時会 住民発議による佐久町・八千穂村 との合併協議会設置議案 反対多数で否決



町議会十一月臨時会が十一月十九日に招集され、二十五日までの七日間の会期で開催されました。

この中で、五月一日に町が受け付け手続を進めてきた、税理士の篠原捷四さん（下小田切）が代表請求者として請求のあった、住民発議による佐久町・八千穂村との合併協議会設置に関する案件が「市町村の合併の特例に関する法律」第四条第五項の規定により、これに町長の意見書が付され議会に付議されました。

意見書には「九月に実施した市町村合併に関する町民意向アンケート調査結果を踏まえ、三町村による合併協議会の設置に

ついてもより慎重、消極的にならざるを得ない」と記されており、最終日に請求代表者の意見陳述、議員による賛成（三人）、反対（六人）討論が行われるなか、採決の結果、賛成三人、反対十四人で否決されました。

このほか、議会議員の報酬等に関する条例の一部改正案、特別職並びに一般職の職員の給与に関する条例の一部改正案及び衆議院議員選挙費に係る一般会計補正予算の専決処分が提出され、それぞれ可決、承認されました。

市町村合併を 考えよう！

No. 25

佐久市・白田町・浅科村
公共施設見学

十一月十四日（金）、二十一日（金）の両日、佐久市・白田町・浅科村の管内施設見学が行われました。

この見学会は、合併協議を進めるお互いの市町村の施設を見学することで、それぞれの“まち”を知り、さらに住民の皆さんが交流と相互理解を深めていただくことを目的に、三市町村と任意合併協議会の共催により開催されました。

当町では参加希望者が募集定員を上回る反響があり、二日間では九十二名の参加者がありました。佐久市ではクリーンセンター（可燃ごみ処理施設）、佐久情報センター、子ども未来館、児童館、シルバードランドみつい（老人保健施設）、平尾山公園、うな沢第二最終処分場、また浅科村では交流文化館浅科、ほととばしく浅科（道の駅）の各施設を施設職員の説明を受けながら見学をさせていただきました。

合併後は共有の財産

感激と驚きの施設めぐり

途中昼食会場となったスキーガーデンパラダのレストランでは各自持参したお弁当を広げるなど、和気あいあいの雰囲気の中、参加された皆さんは、特に私たちが毎日出している埋立てごみが処理されている施設ではその規模に感激と驚きを抱いた方も多く、新市となった時、共有の財産となる施設にふれ、短い時間ではありましたが充実した一日となったようです。

また、佐久市、浅科村の皆さんには、スタードーム、龍岡城五稜郭、あいとびあ白田等を見ていただきましたが、当町の進めてきた福祉と文化の街づくりを理解していただけたものと思います。

ほととばしく浅科（浅科村：道の駅）を見学する白田町の参加者



うな沢第二処分場（佐久市）内を見学する白田町の参加者



ご利用ください

市町村合併出前講座

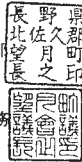
第 14 回任意合併協議会 望月町の加入承認される

15 望総第 2228 号
平成 15 年 11 月 25 日

佐久市・臼田町・浅科村任意合併協議会
会 長 佐久市長 三浦大助 様

望 月 町 長 竹花健太郎

望月町議会議長 安井 務



佐久市・臼田町・浅科村設置予定の法定合併協議会への参加申し入れについて

望月町では協議の結果、佐久市・臼田町・浅科村による設置予定の法定合併協議会に参加したいので、ご協議を賜りたくここに申し入れをいたします。

▲竹花望月町長と安井望月町議長から提出された参加申し入れ書

12 月 6 日（土）佐久市役所において、第 14 回任意合併協議会が開催されました。

会議の中では、去る 11 月 25 日に開催された 3 市町村の理事者会の席上で、竹花望月町長より申し入れのあった合併協議会への参加について協議がなされ、席上望月町が加入することについて全会一致で承認されました。

なお、臼田町ではこれに先立ち、11 月 28 日に議会全員協議会が開かれ、望月町の加入について議会の同意を得た上で当日の協議会に臨んだものです。

また、望月町が加わった 4 市町村での法定の合併協議会は、4 市町村における議決後、12 月 22 日に設置予定との報告がなされました。

工業統計調査にご協力を！

調査をお願いする事業所に 12 月中旬から 1 月にかけて、県知事が任命した統計調査員が調査票を持って伺います。

秘密は法律により厳守されますので、ご協力をお願いします。
経済通産省・長野県・臼田町



▲学生に指導する防犯女性部員（中央左）

防犯だより

町防犯女性部末広がい隊 看護学校で護身術を指導

佐久総合病院看護専門学校の生徒を対象に、白田警察署と町防犯女性部が共同して、十一月十七日から二十五日の間で四日、学生に護身術を指導しました。

指導最終日の二十五日は、一科二年生の学生約九十人が白田警察署員三人と町防犯女性部員八人から護身術の指導を受けました。

これは、看護の仕事が夜間に帰宅することが多いことから、基本的動作であまり力を使わない護身術を覚えてもらうために、教室ではビデオによる講習を一

いつもおしごと
ありがとう

～園児が町長室を訪問～

十一月十八日、白田幼稚園の園児五人が町長室を訪れ、シクラメンの鉢と「いつもおしごとありがとう」と書かれた園児たち手作りの来年のカレンダーを加藤町長に手渡しました。



▶シクラメンを手渡す白田幼稚園児

時間、体育館では実技指導を二時間行いました。

実技指導では、二人一組となり背後から抱きつかれた時を想定した場面に、町防犯女性部員も汗をかきながら体を張り、熱血指導を行いました。

なお、この四日で指導を受けた看護学生は三三六人でした。

◀置き物を手渡す白田保育園児



代表して園児のたかぎりさこさんが、加藤町長に質問する場面がありました。

十一月二十一日には白田保育園の園児七十三人が町長室を訪れ、園児たち手作りのどんぐりを使った置き物を加藤町長に手渡しました。

昨年も白田保育園の園児が勤労感謝の日前に町長室を訪れており、励ましの言葉が書かれたポスターをいただいています。